

令和4年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報(No.12)

令和4年5月23日

網走西部地区水産技術普及指導所

5月23日に紋別海域で行った浮遊幼生調査の結果をお知らせします。

**ホタテ幼生は 130~290 μm まで連続して出現
250 μm 以上の出現数は大幅に増加**

◎浮遊幼生調査結果(表1)

ホタテ幼生の出現状況は下記のとおりです(免疫染色法による)。

【紋別】水深 20m 130~290 μm 582.9 個/トッ

<前回>130~300 μm 643.7 個/トッ

ホタテ幼生が 290 μm まで連続で出現していました。全体の出現数は多く、加えて、付着サイズ(250 μm 以上)の出現数は 101.9 個/トンと前回(5/17:12.7 個/トン)よりも大幅に増加しました。

モードは 170~180 μm にあり、210~230 μm にも山があることから、今後も付着サイズは継続して出現すると思われます。

◎環境調査結果

【水温・塩分(表2及び2頁参照)】

水温は表層が 11°C台、それ以外は 10°C台でした。塩分は 33psu 台前半でした。

【サンプル海水】

前回と同様に植物プランクトンによって少し濁りがありました。

表1 浮遊幼生調査結果

		紋別(20m)
		5月23日
ホ タ テ ガ イ	殻長	個/トッ
	130-	56.6
	140-	28.3
	150-	39.6
	160-	50.9
	170-	73.6
	180-	67.9
	190-	11.3
	200-	22.6
	210-	39.6
	220-	28.3
	230-	39.6
	240-	22.6
	250-	28.3
	260-	22.6
270-	17.0	
280-	17.0	
290-	17.0	
300-		
	計	582.9
その他二枚貝		5,574.0

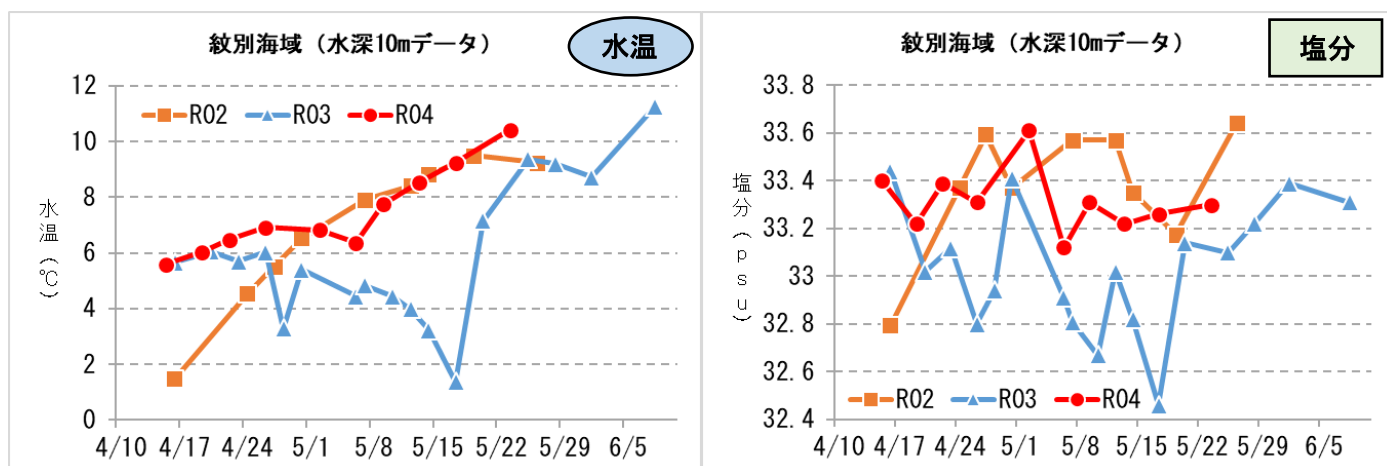
※全て 20m 1 回曳き

表2 環境調査結果

深度 m	20m	
	水温 °C	塩分psu
0	11.2	33.22
5	10.7	33.28
10	10.4	33.30
15	10.1	33.36
底	10.0	33.38

底: 18.8m

◎各海域の水温および塩分の推移



◎今後の調査予定(浮遊幼生調査)

今年度の浮遊幼生調査は今回で終了します。